総合計画審議会からの意見一覧

資料1－1

NO,	該当ページ・内容など	ご意見・ご質問	町の考え方
1	第　章　第　節 全体	第1節の（1）～（5）をすべてSDGsを中心に取りまとめてはどうでしょうか。つまり今回の総合計画はSDGsを柱とするのです。 （1）少子高齢化と人口減少→11番目の住み続けられるまちづくり （2）子育て・教育→4番目の質の高い教育をみんなに （3）福祉・医療・健康→3番目のすべての人に健康と福祉を （4）経済・産業・労働→9番目の産業と技術革新の基盤をつくろう （5）安全・安心なまちづくり→11番目の住み続けられるまちづくりを	現在の策定の方針としては、基本計画において、基本目標を実現するための施策とSDGsを関連付けることとしています。 基本計画に定める施策を推進することが、SDGsの17のゴールの達成に寄与するものと考えています。
2	第　1　章　第　2　節 総合計画策定の意義	地震や台風に続き、予期もせぬ感染症の発生の記載は	「新型コロナウイルス感染症の拡大」を追記しました。
3	第　2　章　第　1　節 地理	「東播臨海広域市町村圏」の村はそのままか	変更はありません。
4	第　2　章　第　3　節 歴史	鳴ヶ岡稲荷神社は、鳴岡稲荷神社とどちらの書き方でも大丈夫ですか	「稲荷神社」に対しては、「鳴岡」を使用しておりますので、修正しました。
5	第　3　章　第　1　節 （1）少子高齢化と人口減少	3行目から4行目にかけて この表現では、少子化の要因の第1が、女性の社会進出にあるとの誤解を招いてしまう恐れがあると思います。そうではなく、非正規雇用の増加、それに伴う所得の減少、雇用の不安定化の要素のほうが大きいのでは。 （実際、1997年と2017年の年代別所得を比較したデータでは、20代30代の所得が明らかに低所得層にシフトしています。） 一方で、子育てにかかる費用の増大、子育て支援環境の不足・脆弱性、仕事との両立の困難さ（育児休業制度を利用できないなど）、そして価値観の変化など様々な要因があいまって少子化がすすんでいるのではないでしょうか。夫婦が理想とする子供の数と実際に育てている子供の数の差が、「子供を産む」という選択のしづらさを如実に物語っているのではないでしょうか。 　非婚化、晩婚化、晩産化の原因は、そんなに単純なものじゃないと思います。 ① 男女ともに、若い世代で非正規雇用が増加し、安定的に家庭を築く基盤である経済力に不安が大きいこと、将来見通しへの不安。 ② 女性の就業率で全国上位を占める北陸3県では、合計特殊出生率は、国の平均を上回っているはずです。	「少子化の進行は、結婚・出産・子育ての希望の実現を阻む様々な要因が絡み合って生じており、解決には多方面からのアプローチが必要となります。」と表現を改めました。

NO,	該当ページ・内容など	ご意見・ご質問	町の考え方
6	第　3　章　　第　1　節 (1)少子高齢化と人口減少	女性に責任があるような印象を受けました	「少子化の進行は、結婚・出産・子育ての希望の実現を阻む様々な要因が絡み合って生じており、解決には多方面からのアプローチが必要となります。」と表現を改めました。
7	第　3　章　　第　1　節 (1)少子高齢化と人口減少	空き家対策や空地、空田畑などの有効活用と市街化調整区域の将来的な見直しによる定住化	住宅用地の確保や空き家の利活用についての表現を追加しました。
8	第　3　章　　第　1　節 (2)子育て・教育	すべての子どもが心身ともに健やかに生まれ育つこと ↓ この言葉は無くても良いのではないでしょうか	「すべての子どもが心身ともに健やかに育つこと」と表現を改めました。
9	第　3　章　　第　1　節 (3)福祉・医療・健康	福祉の必要な社会教育(地域住民への)の強化と、自治会ごとの民生委員の配置(他の地区は知らない人が多い)	民生委員については国の基準に基づいて配置しております。
10	第　3　章　　第　1　節 (3)福祉・医療・健康	5行目 「自立支援事業」 この表現も、誤解を招くと思います。削除していただいたほうがよいのでは。 ・生活困窮者自立支援制度(経済的な課題からのアプローチ) ・日常生活自立支援事業 (高齢・障害により判断力に不安がある人へのサポート) ・稲美町障がい福祉計画の中では、「自立への支援」という表現は出てきますが・・・。 上記の表現は、出てきますが・・・。ここで使われている意図とは違っているように思います。	「自立支援事業」を削除し、表現を改めます。
11	第　3　章　　第　1　節 (4)経済・産業・労働	(4)6行目～ 稲美町において、そして、今後の社会にとって、農業は、とても大事にすべき産業だと思います。人手が少なくても、少々齢を重ねても、力がなくなってきても続けられるような、それこそ、ドローンやIT機器を使ったスマートな経営をサポートするとか、「ICTの活用」は、教育現場だけではなく広がってほしいです。 さらに、農福連携を町としても支援することに言及していただければ。	「スマート農業」を追記しました。

NO,	該当ページ・内容など	ご意見・ご質問	町の考え方
12	第　3　章　　第　1　節 (4)経済・産業・労働 (6次産業化を推進)	一時期流行った言葉ですが、あまり6次産業化をして収益を上げている人を見かけない。	農家の経営を安定させる観点から、引き続き6次産業化を推進します。また、6次産業化拠点施設である「にじいろふぁ～みん」等での販売を促進します。
13	第　3　章　　第　1　節 (4)経済・産業・労働 (担い手の確保)	稲美町は、新規就農・親元就農ともに多いが、各経営体がとても小さい。1戸あたりを大きくしていくことが必要。 土地を管理していくだけの所、しっかり収益を上げていく所を分けて考えたほうが良い	具体的な対策は、基本計画や各分野ごとの計画で検討します。
14	第　3　章　　第　1　節 (4)経済・産業・労働	「本町」が無いが 特に集落営農組合については「本町」を記載すべき	「本町では」を追記しました。
15	第　3　章　　第　1　節 (5)安全・安心なまちづくり	「本町」が無いが	「本町では」を追記しました。
16	第　3　章　　第　1　節 (5)安全・安心なまちづくり	通学路の歩道整備や防犯灯・防犯カメラの設置による事故・事件の未然防止を図る必要がある	具体的な対策は、基本計画や各分野ごとの計画で検討します。
17	第　3　章　　第　1　節 (6)持続可能なまちづくり	2行目 「低炭素社会」 炭素排出を抑制するだけでは、地球の温暖化は止められないからこそ、「脱炭素社会」を目指して、世界は動いているし、そこを目指していない会社は、相手にされなくなるし、投資家からも見放される、と聞いています。 2030年まで使う計画に「低炭素社会」とは・・・。	「低炭素社会」を「脱炭素社会」に改めました。
18	第　3　章　　第　2　節 (4)人口減少社会への対策 力を入れるべき取り組み	まちづくりに携わる人材ネットワークの構築(地域おこし協力隊) 外からの目の方が稲美町の”良いところ”、”悪いところ”が見えるのでは？	具体的な対策は、基本計画や各分野ごとの計画で検討します。
19	第　3　章　　第　2　節 (5)町の施策の満足度 「地域における交通手段の確保」	「あいのりいなみ」の利用状況はどうですか？ 該当のタクシーに遭遇しないのですが。	12月から社会実験として運行しております「あいのりいなみ」ですが、月平均で延べ114人にご利用いただいております。引き続き、周知・利用促進に取り組んでまいります。
20	第　　章　　第　　節 その他	あて職による会議などに時間がとられて仕事の時間が減ることを嫌がる人が多い。意見を集める際にラインやメールなども使って欲しい。すべてが高齢者に配慮されすぎている。	審議会において図り、開催方法については検討いたします。